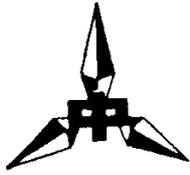


能生中学校だより



# 三一録

能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

令和3年6月23日

NO. 3

糸魚川市立能生中学校

〒949-1352 能生2643

☎ 025-566-2065

## 能生中トピックスから (能生中ホームページから抜粋)

### <第1回定期テストに向けて 質問教室開催>



6/7に行われる令和3年度第1回定期テストに向けて、放課後に質問教室が行われました。初めての定期テストに臨む1年生は、質問教室も初めて。集団で教科担当の先生に大切なポイントを聞きながら、不安な学習箇所を理解していきます。元気に質問する姿が見られました。



1年間の経験を活かしたり、進路実現に向けてスタートする2、3年生は、ワークをまとめたり、家庭学習の中で分からなかったところを中心に質問していきます。40分程の短い時間でしたが、集中して学習教材に取り組み、一つ一つ疑問を無くしていきます。『GIGAスクール』の学習環境も整い、タブレットを活用して調べ学習のスタイルも確立されてきました。その成果がテストで発揮されることを祈っています。

中学校区の「かがやき週間」の取組も日曜

日までです。昨年度より家庭学習時間が確保され、メディア時間や睡眠時間の目標を達成できた生徒が多いことを期待します。

### <花街プロジェクト “花に笑顔 街に潤い” 夏花の植え込み>



糸魚川市の花いっぱい運動でいただいたサルビアやベゴニア、マリーゴールドにジニア、ペチュニア、アスターを購入して加えて、花街プロジェクト 夏花バージョンの植え込みを6/9に文化活動部の皆さんが行っ

てくれました。白と茶色のプランターに創立30周年の文字が入ったイラストカードを貼り付けて植え込んでいきます。

春花の時は、感謝のパンジーやマーガレット



を3年生が植え付けたプランターにイラストを貼り付けて公共の場所に届けていたので、1年生は初めての花の植え込み。楽しそうに種類や色のバランスを確認しながら植えてくれました。2, 3年生は慣れた手つきでプランターを作り上げていきます。できあがったプランターが42個。天候をみながら来週には、地区内の保育園や老人介護施設に届けようと考えています。

梅雨入りのないまま、夏本番が到来したような暑いが続いています。しっかりと水やりをして根付いた色鮮やかな夏花で、地域に笑顔と潤いを届けます。

### <2年生 海洋ゴミアートの取組>



2年生の総合的な学習の時間の風景です。SDGsに取り組んだ成果発表を行いました。リアンさん、伊藤さんをお呼びして観てもらいました。生徒たちは、海洋ゴミを材料に、環境の現状への思いをアート作品にしました。それぞれの班の作品を出店形式で紹介しました。

一連の学習を通しての子どもたちの反応は、大人が考える以上のものでした。ある生徒は、今まで環境のことを知らなかったし、この勉強をしなかったら、ずっと知らなかったと思う。エコバッグは使っているけど、何のためになるのかは、考えもしなかった。これからも、環境のことを考えていきたいと自分の言葉で表現していました。また、ある生徒は自分たちがやったことは、世界の課題であることを実感し、取り組んだ意義を自覚していました。



その後、リアンさんと伊藤さんからコメントをいただきました。リアンさんには「とても素晴らしい、感動している。私たちのやっていることは一滴の水かもしれない。でもいずれは大きな海なる。是非この活動を楽しみ続けてください。」と励ましてもらいました。伊藤さんからは、発表や作品を褒めて



もらった後、突然、「みんなの作品をどこかに置いて能生の人やお客さんから見てもらわない？」と提案がありました。その交渉に行きたい人という問い掛けに何人もの人が手を挙げていました。

最後は、代表生徒が英語でお礼を述べ、プレゼントを渡し、1時間の授業は終了しました。プレゼントは、生徒がつくった作品と思いを綴ったアルバムでした。

海の街、能生をテーマに学習を始めました。リアンさん、伊藤さんの存在を知り、刺激を受けました。みんなで協力して海洋ゴミアートに取り組みました。アートがリアンさん、伊藤さんの感動を呼び、また新たな取り組みへと発展しようとしています。どんどん活動が広がっていく、まさに総合的な学習の学びを深めていく姿を感じています。これからも、生徒の発想を生かし、学習を進めていきます。

＜夢を叶えるために

上越地区各種大会壮行会＞



6月10日、上越地区各種大会の壮行会が行われました。HPでも紹介しましたが、能生中学校には応援委員会はありません。壮行会のために特設応援団が結成され、朝練習などを繰り返して準備してくれました。



応援団長の挨拶では、会場全体が一つになって選手を応援してほしい。選手へは、残り少ない練習の期間だが、悔いの残らない練習を行い、大会会場で能生中旋風を吹かせてほしいと激励が送られました。

校長は、部としての“夢を叶える”ために、3年生は思いをしっかりと下級生に語ってほしい。1、2年生は自分たちができる精一杯で3年生を支えてほしい。ベクトルを一つにして、チーム能生中で戦うことを願いました。

各部の部長から大会の期日や会場、大会に

かける思いが決意として語られました。能生中のユニホームに身を包んだ選手一人一人から、「応援、よろしくお願いします」の強い決意が込められたかけ声が発せられ、会場が盛り上がっていきます。

3年生は、去年の先輩の思いも受け継ぎ、2年越しの並々ならぬ思いが凜とした姿に感じられます。2年生は初めて経験する地区大会、先輩の思いを受けて力が入ります。真新しいユニホームで壮行会に臨んだ1年生、先輩たちへの憧れをもって、試合に臨みます。



最後に力強い応援が繰り広げられました。特設応援団は、選手も兼ねているので、ユニホームから制服に着替え、自分へのエールと共に仲間を応援していきます。

エール、校歌、各部へのコール、そして“あげあげコール”とどれも工夫された内容です。力強い太鼓の音にフロアーの生徒の大きな声が混じり、選手の背中を押していきます。柔剣道場に地鳴りが響き渡りました。

15日の陸上大会をスタートに各部が大会に臨みます。まずは県大会出場と一日でも長く仲間と練習できるように能生中旋風を吹き荒らしてきます。応援よろしくお願いします。



**30年後も輝く  
能生中 に向けて**